

# みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

## <市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

## 6月市議会定例会報告

平成24年第3回市議会定例会は、6月12日から26日までの15日間の会期で開かれました。開会に先立ち、中川小学校合唱部の皆さんによる合唱が行われ、梅雨空を消すような美しいハーモニーが議場に響き渡りました。♪♪

本定例会では、財産の取得について（防災頭巾）、公の施設（高崎市金古運動広場）の指定管理者の指定について、平成24年度高崎市一般会計補正予算についてなどの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

### ～東部公民館改築工事始まる！～

#### 安全で暮らしやすい東部地域を目指して

現在の公民館は昭和49年度に建設され、耐震診断の結果大規模な改修が必要であるとの結果が出たため改築工事を行います。基本設計については、地元関係者の方々による建設検討委員会を設置し、地域の皆様の意見を反映させています。

既存の建物を利用しながらの工事となるため、西側の駐車場用地に鉄筋コンクリート造2階建ての新公民館を建設し、竣工後解体工事を実施する予定です。

車椅子に対応したエレベーターや多目的トイレを設けるなどバリアフリーに配慮した新公民館は平成25年度開館予定です。工事期間中はご不便をおかけしますが、安全に建設が実施されるよう皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成24年度：建設工事、旧館解体設計 1億7,919万円（予算額）

平成25年度：開館、旧館解体工事

### 本会議のインターネット中継開始

市民の皆様が開かれた議会を目指し、今定例会からインターネットによる本会議の生中継を開始しました。また、いつでもご覧いただけるよう、録画中継も実施しています。議場内での高橋みなおの市長や担当部長との質疑答弁の様子をぜひご覧ください。



### 6月定例会

## 市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十九人の議員が行い、高橋みなお議員は、初日に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

### 競馬場跡地利活用方針と本市の施策について

**質問** 県知事と市長による高崎競馬場跡地の利活用方針が、展示施設を中心としたコンベンション施設と決定した。市長は、高崎駅東口に計画している大規模集客施設と重複した建設はないとしながらも、四月に発表した「都市集客施設基本計画(案)」は県との調整を図るため、大幅な修正が必要となった。この間、市は情報収集や関連部署との庁内連携をどのように進めてきたのか。

**答弁** 県市間の協議を軸として調整を行い、利活用有識者検討委員会にも参画する中で考えを伝えてきた。庁内においても、関係所管課で連絡調整を図ってきた。

**質問** これまで利活用については、県が主導的に進めてきたが、住宅地が大部分を占める地域であり、地元住民や学校関係者等の意見を聞く機会を設けてきたのか。

**答弁** 競馬場周辺地域の区長、土地所有者を

中心に機能内容を説明し意見や要望を伺ってきた。部活動などで利用している学校関係者からの要望があれば、県と協議しながら対応していきたい。

**質問** 県方針の平成二十七年に施設整備着工となれば、土地整理や周辺道路などの課題や調整が必要である。また、県は六月に『競馬場跡地活用推進室』を設置したが、今後市はどのように係わっていくのか。

**答弁** 本市所有分も含む土地の扱いについては、今後協議していく。競馬場へのアクセスや周辺道路は重要な問題と認識している。貴重なポテンシャルの高い土地であり、広く市民の声を聞く機会の確保に努めたい。

**質問** 問屋町で計画されている展示場施設整備と類似施設になるのではと危惧しているが、整合性は図られているのか。

**答弁** 規模や対象が異なる役割分担ができ、相互に補完し合えることが大切と考えている。それぞれの施設が連携し、コンベンション都市づくりを目指していきたい。

### 公の場所を発着に使つツアーバスの安全性

**質問** 関越自動車道の事故については、今後交通基本法などを柱に議論が展開されると考えるが、事業者とともに地方公共団体にも責務が定められてくると認識し、安全に対す

る取り組みは一層の強化が必要である。高崎市等広域消防局の対応は評価されるものであるが、今回の事故を教訓として今後どのように検討していくのか。

**答弁** 通報の段階で大災害であることが予想され、迅速・的確な判断で各隊が対応した。日頃の訓練の大切さや、関係機関との連携の重要さを再認識したので、複雑多様化する災害に的確に対応していきたい。

**質問** 本市においても高崎駅を中心に多くのバスが発着をしているが、公の場所を利用する事業者には安全対策を再度徹底する必要がある。地方自治体として安全運行の働きかけについての見解は。

**答弁** 県内バス事業者に対してツアーバスの安全運行確保について啓発に努めたい。今後、高速バスを含めた利用の増加が予想されるので、市民の安全を確保するためにも、国・県・事業者と連携しながら取り組んでいきたい。

### ☆☆☆ [後記]

教育委員会は、平成二十五年四月から市立幼稚園、小中養護学校を現在の2学期制から3学期制に戻すことを発表しました。

長期休暇前に通知表を渡し、子どもや保護者に生活を振り返ってもらい、課題を克服してもらおうことなどが主な理由です。また、2学期制では暑さが厳しい時期に運動会を行うなど改善が求められていました。それぞれに長所・短所はあると思いますが、「学校生活の主役は子どもたち」という一番大切なことを忘れてはいけませんように。

☆☆☆